

第41回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会を開催して

(2025年4月5・6日)

ホテル日航金沢／石川県立音楽堂／金沢市アートホール

筒井 清広

とりい皮膚科クリニック

メインテーマは“AIと医療”

第41回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会を金沢で開催しました(図1)。初の北陸開催でしたが天気にも恵まれ、桜も満開で、1,600名に現地でご参加いただきました。完全対面の地方開催では過去最高の動員数となりました。学会テーマは「DEEP DERMATOLOGY～皮膚科医にしか見えないもの」で、AIと医療の関わりを書いた『DEEP MEDICINE』(Eric Topol著)から発想を得たものです。AIと医療は今学会のメインテーマで、特別講演では日本皮膚科学会理事長である大阪大学の藤本 学教授から「AIが切り拓く皮膚科の未来」について、ハンズオンセミナーでは近畿大学の大塚篤司教授に「皮膚科医のためのChatGPT入門」についてご講演いただきました。Deep Learningおよび生成

AIで飛躍的に進化したAI革命の現状に驚くとともに、皮膚科診療の安易な便利ツールだけではなく重要な発展のパートナーとなりうると教えていただきました。会場はたくさんの聴衆で埋まり、関心の深さを感じました。

バラエティに富んだプログラム

松下貴史教授(金沢大学)、白崎文朗同窓会長(白崎医院)とプログラムについて議論を重ねてまいりました。シンポジウムでは「達人に聞く皮膚科の醍醐味」「乾癬本音トーク」「アトピーの皮膚科医が語る アトピー性皮膚炎の一生」「先天性表皮水疱症の最近の進歩」「薬疹を深く知ろう」などのテーマをご用意しました。また、福井大学救急科総合診療部・林 寛之教授の「皮膚科救急のTips & Pitfalls」(図

2)、東京大学医科学研究所・西村栄美教授の「皮膚の老化と疾患」、金沢大学が誇る教授陣の「他科の達人から学ぶ」など、皮膚科以外の先生による普段聴く機会のない貴重な講演を企画し、どれも会員の皆様にたいへん好評でした。日本医師会会長の松本吉郎先生には「目前に迫っている地域医療の課題」についてご講演いただき、開業医と勤務医を一体にして守っていかねば地域医療が立ちゆかなくなるとの決意表明がありました。厚生労働省医政局医事課の和泉誠人氏の「美容医療に関する国の検討状



図1 大会集合写真



図2 福井大学救急科総合診療部・林 寛之教授による「皮膚科救急のTips & Pitfalls」

況」の報告では、いわゆる“直美”はまだそれほど多くないものの大部分は皮膚科専門医取得前に美容科に進んでいるのが現状で、皮膚科専門医育成の課題、自由診療と保険診療との診療費格差が討論されました。さらに、今回初めて皮膚科スペシャリティーナース講習会を開催し、多くのナースの皆様も学会に参加し、講習会を受講しました。シンポジウム「患者と考える円形脱毛症治療」で2つの患者会代表から報告があり、ウィッグ助成の要望や社会からの偏見について討論しました。どの会場も盛況でしたが、会場が8会場にわたり皆様の聞きたい演題が時間的に重なってしまったことをお詫び申し上げます。ご講演いただいた先生方、参加された先生方には心から感謝いたします。ありがとうございました。

金沢ならではのおもてなし

金沢らしいおもてなしを田中武司先生(田中皮膚科クリニック)、石黒和守先生(石黒皮膚科クリニック)と企画しました。開催前日の会頭招宴会は老舗料亭・金城楼において東茶屋芸妓衆の金沢素囃子(図3)で開宴し、懐石料理を地酒でいただきながら、大広間を埋めて車座で歓談する皆様で大いに盛りあがりました。1日目夜は音楽堂ホールでメディカルオーケストラ金沢(MOK)によるクラシックコンサートの感動的な名演を堪能しました(図4)。その後の懇親会はホテル日航金沢において能登御陣乗太鼓(図5)、鏡割りで開宴し、地元食材を使った料理やお寿司に、33の地元酒蔵からの地酒飲み比べ、金沢ビールで楽



図3 東茶屋芸妓衆による金沢素囃子



図4 メディカルオーケストラ金沢(MOK)によるクラシックコンサート



図5 能登御陣乗太鼓

しんでいただきました。翌朝はあいにくの小雨でしたが、早朝ジョギングで金沢城公園の満開の桜を満喫しました。また学会場では和菓子の名店吉はし、水本の上生菓子を、企業展示場の会員休憩ブース、患者会ブースでも金沢銘菓をお揃えしました。

おわりに

奥能登大地震、豪雨災害からの復興はまだ道半ばですが、今回の学会を皆様のおかげをもちまして盛会に終え、能登に声援を送ることができました。学会中にはたくさんの皆様が金沢の街に出かけて応援消費をしていただけたことにも心から感謝いたします。ありがとうございました。最後に、日本皮膚科学会大会運営部の山田紀子様へ感謝申し上げます。